資料９

設問の意図と次期計画への活かし方の想定

１．観光アンケート

【方法】NTT ドコモ・プレミアムパネル調査

※NTT ドコモの d ポイントクラブ会員のモニターを対象に実施するインターネットアンケート調査です。性別・年代・居住地などの条件で対象者を抽出し、短期間で多くの回答を収集できるため、市場調査や住民意識調査などに活用されています。

【設問数】20 問

【件数】合計 1,500 件　（兵庫県 500・大阪府 400・京都府 300・その他 300）

【対象】直近２年間で丹波市に来られた市外在住者

【調査概要】過去に来丹された旅行者に対して、直近の丹波市旅行での行先・消費行動・おすすめの場所・丹波市観光の魅力・丹波市観光の課題・NPS・既存計画の市施策の評価・今後の施策に期待する事等を調査します。

分野	問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
A：旅行者属性	問１	来訪形態（日帰り・宿泊数等）の実態を把握する。	宿泊施設整備や宿泊型観光メニュー開発、日帰り客の宿泊転換施策の検討材料とする。
	問２	丹波市への来訪頻度（リピート状況）を把握する。	リピーター獲得施策の検討に活用する。
	問３	来訪時の同伴者構成（家族・友人・団体等）を把握する。	ターゲット層別（家族連れ、カップル、学校・団体等）のプロモーションや、子ども連れ向け設備・団体受入環境の整備検討に活用する。
B：旅マエ情報	問４	来訪目的（食、自然、歴史文化、体験等）を把握する。	目的別コンテンツの強化、丹波三宝や体験型観光など重点化すべき観光資源の方向性検討に活用する。
	問５	訪問先決定時に参考にした情報媒体（HP・SNS・口コミ等）を把握する。	情報発信チャネルの見直し・強化、SNS 運用方針、広報媒体選定と予算配分の検討に活用する。
	問６	来訪時の交通手段（自家用車・公共交通等）の実態を把握する。	二次交通の整備、公共交通アクセスの改善、レンタカー・観光バス等への対応策の検討に活用する。
C：旅ナカ情報	問７	実際に立ち寄った観光スポットの実態を把握する。	人気スポットの重点整備、周遊ルートの開発、認知度が低いスポットの PR 強化の検討材料とする。
	問８	購入したお土産の傾向を把握する。	特産品開発・販売強化、土産物店の品揃え改善、道の駅等における商品戦略の検討に活用する。
	問９	１人あたりの観光消費額を費目別に把握する。	宿泊・飲食・体験等への消費誘導の基礎データとして活用する。
D：旅アト情報	問 10	観光時に不足していたと感じた要素（飲食店・宿泊・交通・案内等）を把握する。	観光インフラ整備の優先課題を抽出し、受入環境改善の重点分野を特定する。

分野	問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
	問 11	特に魅力を感じた観光資源を把握する。	丹波三宝、丹波竜、自然景観、歴史文化等、重点的に磨き上げる観光資源の優先順位検討に活用する。
	問 12	丹波市への再訪意向を把握する。	再訪意向を居住地・年代・同伴者別に見て、「どの層は放っておいてもリピートするか」「どの層に働きかけが必要か」を切り分け、狙うべきターゲット層を明確にする。
	問 13	顧客推奨度（NPS）を把握する。	高得点者と低得点者それぞれが問 11（魅力を感じたもの）・問 10（不足していたもの）でどう回答しているかを比較し、「伸ばすべき強み」と「改善すべき弱み」を切り分ける。
E：現行施策評価	問 14-15	現行の観光施策に対する満足度を把握する。	施策評価にて活用
	問 16-17	以前と比べた施策の改善実感を把握する。	
	問 18	今後重要だと思う施策の優先順位を把握する。	
F：今後期待すること	問 19	今後、丹波市に期待する観光施策を把握する。	情報発信強化、体験型観光の充実、インバウンド対応など、次期施策の方向性検討に活用する。
	問 20	自由記述による定性的な意見・要望を把握する。	定量調査では拾いきれない具体的な意見・アイデアを収集し、施策立案の参考情報とする。

２．農業アンケート

【方法】郵便による発送、郵送及び WEB による回答

【設問数】25 問

【件数】約 3,000 件　（内、法人・集落営農組織について約 60 件）

【対象】水田台帳による無作為抽出の市内農家及び法人・集落営農組織

【調査概要】 市内農家・法人・集落営農組織に対して、回答者の属性、取り扱い品目、農地面積、農業収入、後継者・労働力、遊休・不作付地、今後の経営課題、スマート農業、有機農業、特産物の振興、産業各分野との連携、今後重視すべき農業施策、既存計画の市施策の評価等を調査します。

問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
問 1	農業者の年齢構成を把握	年齢層別の担い手対策、経営継続支援に活用
問 2	主な営農地域を把握	地域別の課題整理に活用
問 3	農業形態を把握	専業・兼業・自家消費層等に応じた支援検討に活用
問 4	作付品目・営農品目を把握	品目別の振興策、特産物施策の検討に活用
問 5	経営耕地面積を把握	規模別の支援策の検討に活用

問 6	農業収入の位置づけを把握	所得向上支援、経営安定策に活用
問 7	後継者の状況を把握	担い手確保、経営継承、新規就農支援に活用
問 8	労働力の確保状況を把握	労働力不足対策、作業受託体制の検討に活用
問 9	労働力の確保方法を把握	雇用、共同作業、委託、人材確保施策に活用
問 10	遊休・不作付地の有無を把握	遊休農地対策、農地保全策の基礎資料に活用
問 11	遊休・不作付地の理由を把握	要因別の農地対策施策の検討に活用
問 12	農地の今後の扱いを把握	農地集積・集約、貸借調整等の優先度検討に活用
問 13	地域農業の維持に必要なことを把握	具体的な農業維持施策の検討に活用
問 14	今後の経営意向を把握	拡大・維持・縮小・離農層別の支援検討に活用
問 15	今後の経営課題を把握	次期計画の重点課題設定に活用
問 16	負担の大きい作業を把握	負担軽減のための具体的施策の優先度検討に活用
問 17	スマート農業への関心を把握	スマート農業支援策の必要性判断に活用
問 18	スマート農業の導入課題を把握	具体的なスマート農業導入支援策に活用
問 19	有機農業等への取組状況を把握	有機農業等支援の必要性の検討に活用
問 20	有機農業等に必要な支援を把握	具体的な有機農業等支援施策に活用
問 21	特産物振興に必要な取組を把握	具体的な特産物振興施策の検討に活用
問 22	観光・商工分野との連携意向を把握	飲食・宿泊・加工・商品開発等との連携施策に活用
問 23	今後重視すべき農業振興施策を把握	次期計画の重点施策・新規事業の検討に活用
問 24	現行計画の課題テーマ別評価を把握	継続・強化・見直しが必要な施策の整理に活用
問 25	自由意見を把握	地域課題、現場の声、施策アイデアの把握に活用

３．商工業アンケート

【方法】郵便による発送、WEB による回答

【設問数】39 問（設問は、関連業種ごとに回答対象者を限定して実施。）

【件数】約 2,000 件

【対象】丹波市商工会員の事業者に加えて、非会員の大企業等の事業者（農林業事業者は別途調査の対象のため、除外。）

【調査概要】 市内事業者に対して、企業形態、業種、従業員数、経営状況及び課題、既存計画に沿った改善度・満足度、各項目の最も重要な施策とその具体的な取り組みのアイデア、既存計画の市施策の評価・今後の施策に期待する事等を調査します。

項目	問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
事業所属性	問１	・規模・法人格の把握。	・個人事業主・中小企業比率の把握 ・支援対象（中小企業／大企業）の重点設定（クロス分析）
	問２	・新規開業（起業・創業）事業者の把握	・起業・創業支援施策の裏付け根拠（クロス分析）
	問３	・業種別の実態差を捉える分類軸	・業種別の課題抽出（クロス分析）
	問４	・事業規模（雇用規模）の把握	・小規模事業者向け施策の対象把握（クロス分析）
経営状況・課題	問５	・経営の現状に関する定量的把握	・次期計画の課題整理の根拠
	問６	・価格転嫁できているか否かの把握	・価格転嫁できていない事業割合を把握し、施策検討の材料とする
	問７	・雇用動向と人手不足を把握	・人手不足のある属性への施策のアプローチを検討する
	問８	・賃上げ実態と満足度のギャップ把握	・働き方改革支援策の必要性などの根拠とする ・賃上げ実態と経営課題との照らし合せによる
	問９	・経営課題を網羅的に拾う設問。人材・承継・コスト増・DX など、事業者が今困っていることを複数回答で洗い出す。	・回答の出現頻度から次期計画で優先的に手を打つべき課題を絞り込む ・問５～８の結果と合わせて読むことで、課題の根拠を明確にする材料にする
	問 10	・事業承継の状況を可視化する設問。	・後継者不在の事業所のボリューム感をつかみ、事業承継支援やマッチング施策の必要性を裏付ける根拠とする
商工業振興に関する取組の評価	問 11 ～ 問 36	①計画の基本目標に係る評価（改善度、満足度）を行う設問 ②各基本目標に係る施策の内容に対する最も重要な項目を把握する設問 ③その施策で具体的なアイデアを聞く設問 ①～③の三段論法で現行計画の評価を行う	・現行計画を項目ごとに評価し、次期計画での施策の継続・強化・見直しの根拠にする ・基本属性などとクロスを掛けることで課題を抽出する
公的支援策の利用	問 37	・商工業施策①～⑬について、これまで個別に聞いてきた評価軸を横断して比較させ、13 施策間の相対的な優先順位を把握する設問	・5 つの方向性と 13 の基本目標に対応する重点施策の絞り込みの直接的な根拠をとる ・問 11～27 等の個別分野評価を統合し、優先順位を最終確認する
	問 38	・問 37 同様、観光施策①～⑧について、横断的に比較し、重要度評価を行い、優先順位を付ける設問	・観光分野における重点施策の絞り込みの根拠とする

自由記述	問 39	・産業振興・まちづくり全般について、定量調査では拾いきれない意見・要望を包括的に収集する設問	－

４．市民アンケート

【方法】郵便による発送、郵送及び WEB による回答

【設問数】31 問（分野共通、商業、工業、農業、林業、観光）

【件数】1,800 件

【対象】住民基本台帳より無作為抽出した満 18 歳以上の性別・年代別の丹波市民

【調査概要】

（分野共通）市内で働きたい意向と業種、市外で働きたい・起業したい理由、丹波市を働く場所として選ばれるための取組

（商業分野）市内での買い物の割合とその理由、今後の商業振興にかかる取組

（工業分野）工場やものづくり企業のイメージ、今後の工業振興にかかる取組

（農業分野）農業との関わり、農産物及び加工品の購入頻度・場所及び重視すること、農業の課題及び果たす役割、今後の農業振興にかかる取組、今後の農業や農村との関わり

（林業分野）林業との関わり、丹波市産材の利用の考え、林業の課題及び役割や価値で重視すべきこと、参加したい森林活動、今後の林業振興にかかる取組

（観光分野）観光資源の利用状況、観光客増による効果、他市に誇れる観光資源、市内観光の課題、今後の観光業振興にかかる取組、今後の観光事業との関わり

（１）分野共通

問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
問１	・丹波市内で働くことに対する意向を把握する ・市内就職や市内での継続就業の潜在的なニーズを把握する	・市内企業への就職促進や人材確保施策の検討に活用 ・若者の定住、U・I ターン就職、離職防止などの雇用施策の基礎資料とする
問２	・市内での就業を希望する人（1・2 の回答者）が、どのような業種への就職を希望しているかを把握する	・業種別の人材確保、職業体験、企業見学、就職相談等の施策設計に活用する
問３	・市内での就業を希望する人（2 の回答者）が、市内で働きたい理由や条件を把握する	・市内就業を後押しする要因（求人内容、賃金水準、両立支援等）を明らかにし、雇用環境の改善施策の優先順位づけに活用する
問４	・市外での就業を希望する人（4 の回答者）が、市外を選ぶ理由を把握する	・市内就業の阻害要因を特定し、雇用条件の改善や情報発信の強化など、雇用施策の検討材料とする

問５	・市外での起業・創業を希望する人（5 の回答者）が、市外を選ぶ理由を把握する	・創業支援制度の周知・拡充など、市内での創業環境の改善策の検討材料とする
問６	・丹波市内で働く場をより魅力的にするために必要なことを尋ね、「働く場」全体への期待を尋ねる	・若者の定住・U ターン就職支援、働き方改革支援など、商業・工業に共通する雇用・労働施策の設計に活用する

（２）商業分野

問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
問１	・食料品等の日常的な商品、衣料品等の買回り品、飲食サービス、生活関連サービス等について、市内・市外・インターネットでの購入・利用割合を尋ねる設問 ・品目別に「市内でどこまで完結しているか」を測る	・品目別の市内消費率を可視化し、魅力ある個店づくりや地域内消費の促進、キャッシュレス対応の支援など、施策の優先順位づけの根拠とする ・理由の集計結果（品揃え、価格、駐車場、営業時間等）に応じて、施策メニューを品目ごとに把握する
問２	・丹波市全体の商業を魅力的・活気あるものにするために期待する取組を把握する設問	・施策の優先順位づけの根拠とする ・事業者向けアンケートと市民側の期待を比較

（３）工業分野

問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
問１	・工場やものづくり企業に対して市民が持つイメージを聞く設問	・工業のイメージアップにつながる施策を位置づける根拠
問２	・丹波市が工業振興を進めるうえで重視すべきことを聞く設問	・市民が重視する項目を、事業者アンケートで挙がった経営課題とクロスさせ、事業者・市民双方が一致して求める施策を優先的に次期計画へ反映する

（４）農業分野

【農業分野】

問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
問１	市民と農業との関わりを把握	市民参加、地産地消、農業体験等の施策検討に活用
問２	丹波市産農産物等の購入頻度を把握	地産地消や市内消費拡大の検討に活用
問３	農産物の主な購入場所を把握	直売所、スーパー、イベント等の販売促進策に活用

問４	購入時に重視する点を把握	消費者ニーズを踏まえた販売・PR 施策に活用
問５	市民が感じる農業課題を把握	次期計画の重点課題整理に活用
問６	農業に期待する役割を把握	農業の多面的機能や市民生活との関係整理に活用
問７	農業振興で重視すべき取組を把握	重点施策や新規事業の検討に活用
問８	市民の農業・農村への関わりを把握	市民農園、農業体験、農地保全、就農支援等に活用

（５）林業分野

問	設問の意図	次期計画への活かし方の想定
問 1	市民と森林・林業との関わりを把握	市民向けの文章のトーンに活用するとともに森林整備、木材利用、里山保全等の施策検討に活用
問 2	丹波市産材の利用意向を把握	市産材利用促進や情報発信の検討に活用
問 3	市民が感じる森林・林業の課題を把握	重点課題整理に活用
問 4	森林に期待する役割・価値を把握	防災、環境、教育、観光等の施策方向に反映
問 5	参加しやすい森林・林業活動を把握	市民参加型の森林整備、体験、学習施策に活用
問 6	森林・林業で重視すべき取組を把握	重点施策や新規事業の検討に活用

（６）観光分野

問	設問の意図	次期計画への活かし方
問１	市民自身の資源利用度・非関与層を把握	低利用資源は PR 強化、高利用資源は磨き上げに活用
問２	観光振興に市民が何を期待するか把握	期待の高い項目を次期計画の目標に反映か？
問３	市民が誇る強みと市外評価の一致度を検証	一致資源はブランド核、乖離資源は発信強化
問４	受入側の課題認識と来訪者要望のズレを検証	一致課題はインフラ整備の優先施策に反映か？
問５	次期計画の施策方向性への市民意見を聴取	得票上位を重点施策・アクションプランの柱にするか？
問６	担い手としての具体的な役割を把握	希望内容別に市民協働プログラムを設計

（７）自由記述

・丹波市の産業振興に関するご意見・アイデアを自由記述で把握する	※自由記述のため割愛